

ムーンショット 目標検討シンポジウム

— 極限状態におけるこころのあり方 —

私たちは、身体や空間情報のセンシングを通じて人の状態を推定し、パフォーマンスを十分に発揮できるように導く AI およびフィードバック技術「Psyche Navigation System」を開発し、安寧と活力の共存する社会を目指しています。

負の感情やモチベーションの低下を防ぐことで不安を低減し、強い緊張が強いられる場面でも平常心やモチベーションにあふれた状態になれるよう、個人に合ったサポート技術を提供します。
本シンポジウムでは、各分野の第一人者にご登壇いただき、感情コントロールとどのように向き合ってきたかをお話しいたします。

次なる Society 6.0 を想定した
「Cyber-Physical-Mental System (CPMS)」という
新たな概念についても
紹介します。

日 時

2021.5.22(土) 13:30 ~ 16:00

Zoom
オンライン開催

■対象：どなたでも参加いただけます。 ■定員：500 名(事前申込制・先着順) ■参加費：無料

【プログラム】

- 13:30 ~ 13:35 開会の言葉
時任宣博(京都大学理事・副学長)
- 13:35 ~ 13:40 来賓ご挨拶
中島英夫(科学技術振興機構 挑戦的研究開発プログラム部 部長)
- 13:40 ~ 13:55 イントロダクション「Psyche Navigation System による
安寧と活力が共存する社会の実現」
熊谷誠慈(京都大学こころの未来研究センター 准教授)
三浦典之(大阪大学 大学院情報学研究科 教授)
栗野皓光(京都大学 大学院情報学研究科 准教授)
上田祥行(京都大学こころの未来研究センター 特定講師)
- 13:55 ~ 14:15 発表「スポーツの極限状態におけるこころのあり方」
為末大(Deportare Partners 代表/元陸上選手)
- 14:15 ~ 14:35 発表「有人宇宙活動における心の働き」
土井隆雄(宇宙飛行士/京都大学総合生存学館 特定教授)
- 14:35 ~ 14:55 発表「イノベーションに繋がるこころとは」
天野浩(ノーベル賞受賞者/名古屋大学未来材料・システム研究所 教授)
- 14:55 ~ 15:55 総合討論 登壇者全員
- 15:55 ~ 16:00 閉会の言葉 久能祐子(京都大学理事/S&R 財団理事長兼 CEO)



為末 大



土井 隆雄



天野 浩

【申込方法】

下記のお申込み先 URL からご登録いただいた方に、Zoom 参加の URL をお送りいたします。

<https://forms.gle/hvgwFoAB3Z4Nnvo7>

■お申込受付期間
2021年5月19日(水)迄

申込み
による
先着順



【お問い合わせ先】 京都大学こころの未来研究センター リエゾンオフィス (平日 9:00 ~ 17:00)

E-mail: kokoro-sympo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp URL: <http://kokoro.kyoto-u.ac.jp>

■主催: Psyche Navigation System による安寧・活力共存社会実現プロジェクト

■後援: 科学技術振興機構(予定)・京都大学こころの未来研究センター・同上廣倫理財団寄付研究部門



シンポジスト略歴

■ 為末 大 (ためすえ だい)

Deportare Partners 代表／元陸上選手

1978年広島県生まれ。スプリント種目の世界大会で日本人として初のメダル獲得者。男子400メートルハードルの日本記録保持者(2021年4月現在)。現在は執筆活動、会社経営を行う。Deportare Partners 代表。新豊洲 Brillia ランニングスタジアム館長。Youtube 為末大学 (Tamesue Academy) を運営。主な著作に『Winning Alone』『走る哲学』『諦める力』など。



■ 土井 隆雄 (どい たかお)

宇宙飛行士／京都大学大学院総合生存学館 特定教授

1997年、スペースシャトル「コロンビア号」に搭乗し、日本人として初めての船外活動を行う。2008年、スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗。ロボットアームを操作し、日本初の有人宇宙施設「きぼう」日本実験棟船内保管室を国際宇宙ステーションに取り付ける。2009年から2016年にかけて、国連宇宙部で国連宇宙応用専門官として宇宙科学技術の啓蒙普及活動に取り組む。2016年4月より京都大学宇宙総合学術研究ユニット特定教授に就任。2020年4月より京都大学大学院総合生存学館(思修館)特任教授、2020年7月より特定教授。2002年と2007年には超新星を発見する。



■ 天野 浩 (あまの ひろし)

ノーベル物理学賞受賞者／名古屋大学未来材料・システム研究所 教授

1989年名古屋大学大学院で工学博士号取得。2010年名古屋大学大学院工学研究科教授に就任。2015年名古屋大学未来材料・システム研究所 附属未来エレクトロニクス集積研究センター 未来デバイス部、未来エレクトロニクス集積研究センター長に就任。赤崎勇名城大大学終身教授・名古屋大学特別教授、中村修二カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授と共に「高輝度、省エネルギーの白色光源を可能とした高効率青色発光ダイオードの発明」にて2014年ノーベル物理学賞を受賞。



Psyche Navigation System による安寧・活力共存社会実現プロジェクトチーム

■ 熊谷 誠慈 (くまがい せいじ)

京都大学こころの未来研究センター
准教授 (上廣倫理財団寄付研究部門長)



2009年 京都大学大学院文学研究科博士課程修了 博士(文学)。京都大学白眉センター助教、京都女子大学専任講師を経て、2013年4月より京都大学こころの未来研究センター特定准教授、2017年4月より同センター上廣倫理財団寄付研究部門・部門長。2018年、ウィーン大学ヌマタ教授兼任。2020年より現職。専門は仏教哲学(インド・チベット・ブータン)、ボン教研究、幸福観研究。



■ 粟野 皓光 (あわの ひろみつ)

京都大学大学院情報科学研究科
准教授

2016年3月 京都大学大学院情報科学研究科博士課程修了 博士(情報学)。同年4月より(株)日立製作所・研究開発グループ・エレクトロニクスイノベーションセンター。2017年1月より東京大学大規模集積システム設計教育研究センター 助教。2019年1月より大阪大学大学院情報科学研究科 准教授。2020年9月より現職。2018年よりJST さきがけ研究員兼務。AIハードウェアとロボティクス応用に関する研究に従事。

■ 三浦 典之 (みうらの のりゆき)

大阪大学大学院情報科学研究科
教授



2007年 慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了 博士(工学)、同年より日本学術振興会特別研究員(PD)、2008年より慶應義塾大学 特任助教、2012年より神戸大学大学院システム情報科学研究科 特命助教、2016年より同大学 准教授、2018年よりJST さきがけ研究員兼務、2020年より現職。粉末コンピュータを利用した不察知心理計測技術を開発中。

■ 上田 祥行 (うえだ よしゆき)

京都大学こころの未来研究センター
特定講師



2010年 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程単位取得退学 博士(人間・環境学)。同年4月より、京都大学こころの未来研究センター特定研究員、2013年8月より同センター特定助教を経て、2018年4月より現職。心理学・認知科学を専門とし、特に実験・調査を中心とする手法を用いて、こころのメカニズムの解明に向けて従事している。